

分野： 消費生活・衣食住, SDGs

## (環境配慮型社会の形成と身近な環境問題)

環境アドバイザー

川田 紀右

対象 石坂産業株式会社 (9人うちweb参加者5名)

所要時間



1. 5時間

場所 企業会議室

実施時期

令和2年8月27日

## 概要

「環境配慮型社会の形成と身近な環境問題」(コロナで変わった新しい生活様式)について、最近の環境配慮型社会の形成に関して国内外の事例を SDGs を含め、更に新型コロナ感染症で変化した生活スタイルについても言及し、日常生活での課題について対面とオンラインで講義した。

プログラムの  
ねらい

最近、地球環境問題(地球温暖化と異常気象や資源の枯渇及び廃棄物処理)がクローズアップされていて、環境配慮型社会の形成について各国及び国内市町村での環境対策課題となっている。国内外の現状と取組課題について SDGs と共に概説し、日常生活での「環境に配慮した行動チェックシート」を用いて皆の意識を高めることを狙いとした。

## プログラムの内容

## 1 コロナで変わった新しい生活様式 (5分)

新型コロナウイルスの影響で経済活動の低迷となり生活スタイルも変化せざるを得なくなった。

## 2 環境配慮と環境配慮型社会の形成 (10分)

環境配慮とは何か、SDGs を通じた経済社会における循環経済社会活動の必要性和ウィズコロナ時代の意識改革について説明した。

## 3 世界の環境配慮型社会の現状 (10分)

主要各国の環境配慮型社会活動への取組状況について、新聞などの記事の紹介により各国の取組現状について説明した。

## 4. 埼玉県環境配慮型社会の取組 (20分)

埼玉県の環境方針に基づいた環境配慮方針の説明と、SDGs に対する取り組みに対して企業への応援する仕組みについて説明した。

## 5. 埼玉県県内市町の環境配慮型社会の現状と課題(30分)

川越、所沢市を中心とした近隣各市の環境配慮型社会の取組計画と、具体的実施例について各市の HP を参照して取組内容を説明した。

## 6. みんなが行う環境に配慮した行動 (15分)

川越市の「環境に配慮した行動チェックシート 20」を使用して、個人や事業者の環境配慮活動についての必要性について理解をしてもらうことを説明した。

## 受講者の反応

- 世界/日本/地域/家庭と全体をカバーしていてよかった (期待以上)
- 過去2回分も含め自分に足りない知識が得られた (期待通り)
- 今の状況が今後どのように作用するのか知ることができた (期待通り)
- コロナ禍における環境の話が聞けて良かった (期待通り)

# 環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要



使用した ppt 資料（スライド数 93 枚）



オンラインでの講義  
(Zoom)



対面での講義

